

# 自殺未遂者相談支援事業 「いのちの相談支援事業」

( 警察と連携した自殺未遂者への支援事業 )

目的

自殺再企図の可能性が高い自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐための支援を行う

内容

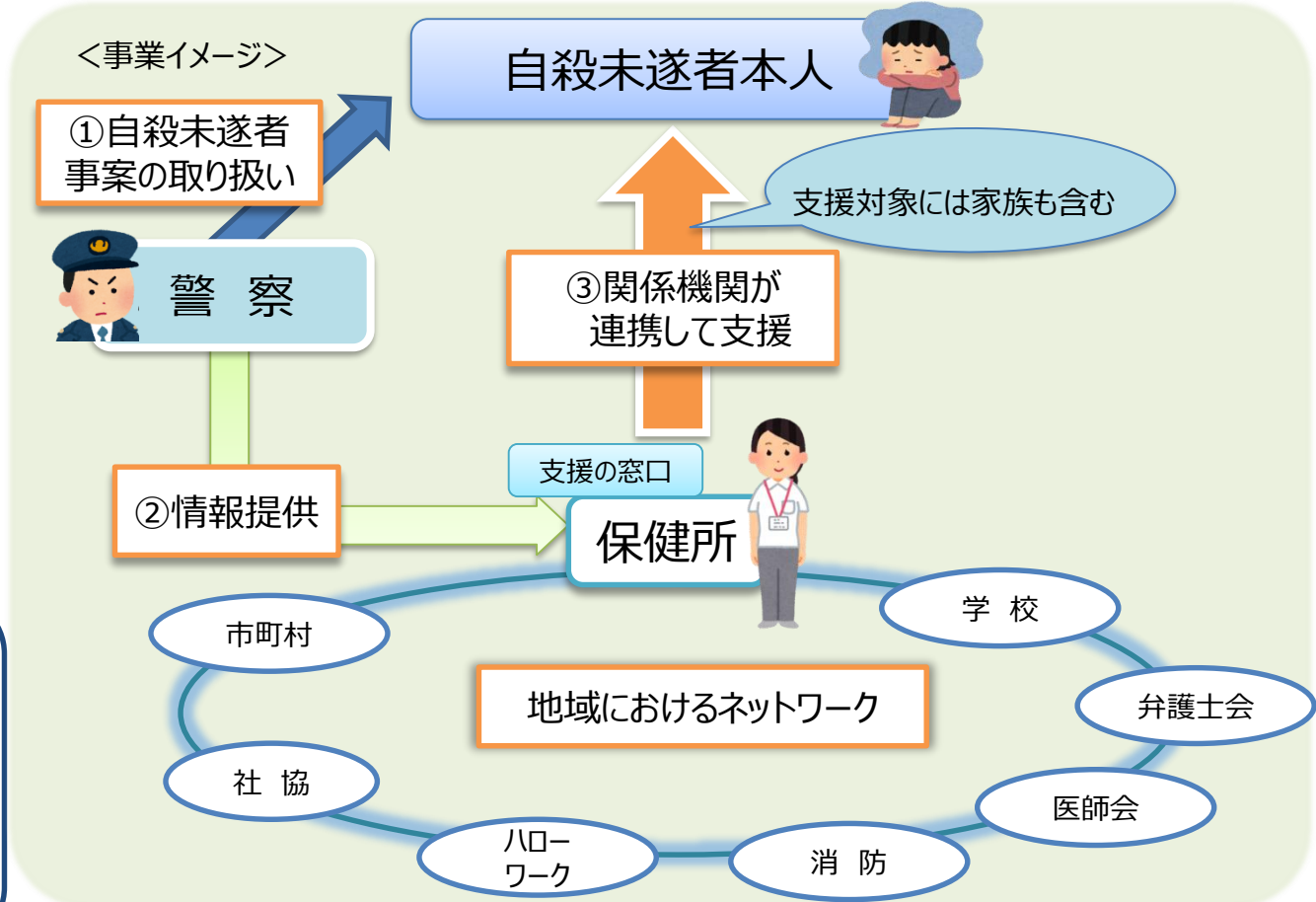
保健所(保健センター)が、警察署から情報提供を受けた相談を希望する本人・家族に対して、関係機関と連携し相談支援を行う

### <事業背景>

自殺未遂者は、自ら相談窓口を訪れることが少ない。

警察から情報提供を受けた対象者に対して、積極的にアプローチし、支援につなぐことが重要。

地域によるネットワークを活用し、母子保健、教育、就労、生活保護、高齢福祉、法律関係等の分野で、切れ目のない支援を実施。

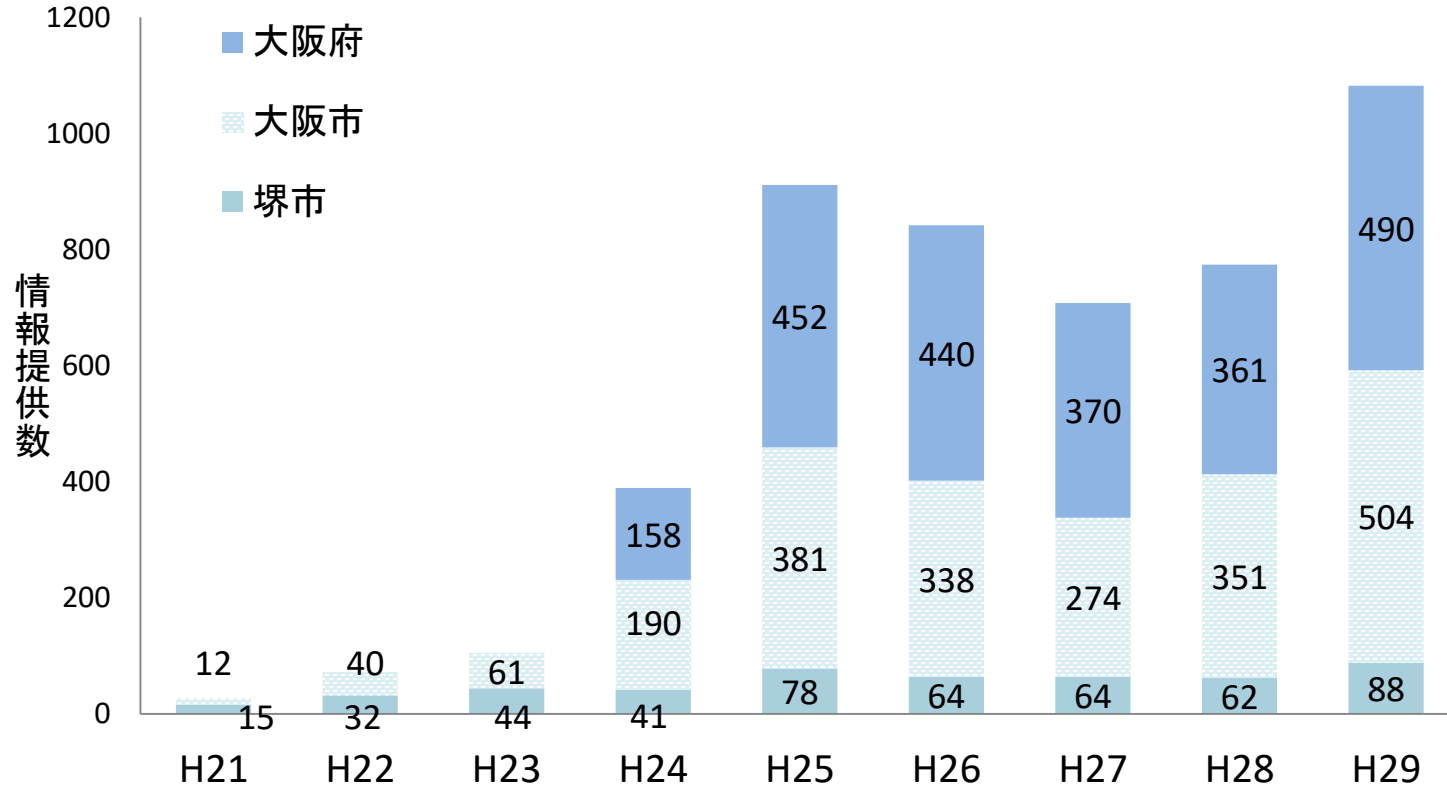


<大阪府はH24年度から事業開始>

# 「いのちの相談支援事業」H29年度まとめ

## ①情報提供数

いのちの相談支援事業 情報提供数  
(大阪府・大阪市・堺市)

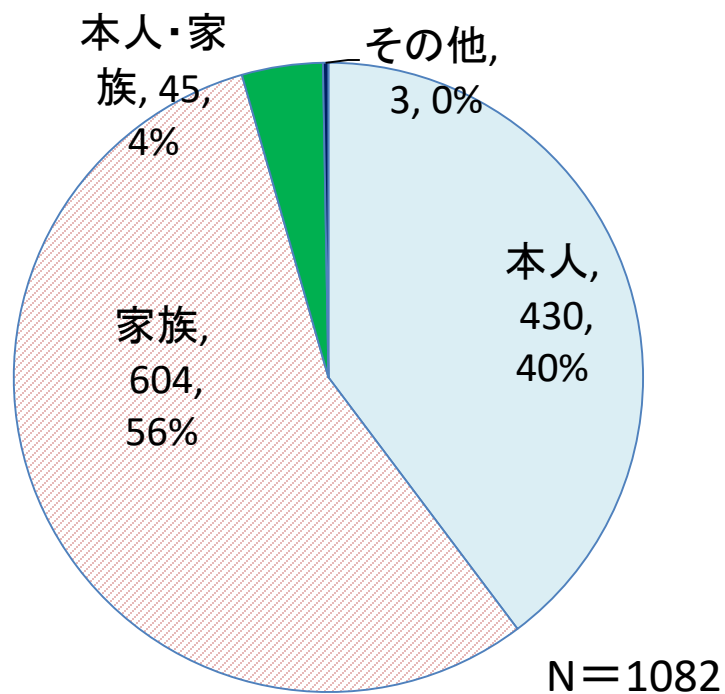


- ◆堺市  
・H21.4～事業開始
- ◆大阪市  
・H21.11～事業開始  
(市内5警察で実施)  
(H22.12末まで)  
・H23.1～  
(市内18警察で実施)
- ◆大阪府  
・H25.1～事業開始

平成25年1月から、政令市・中核市を含めた大阪府全域で、警察署と連携した事業を実施。

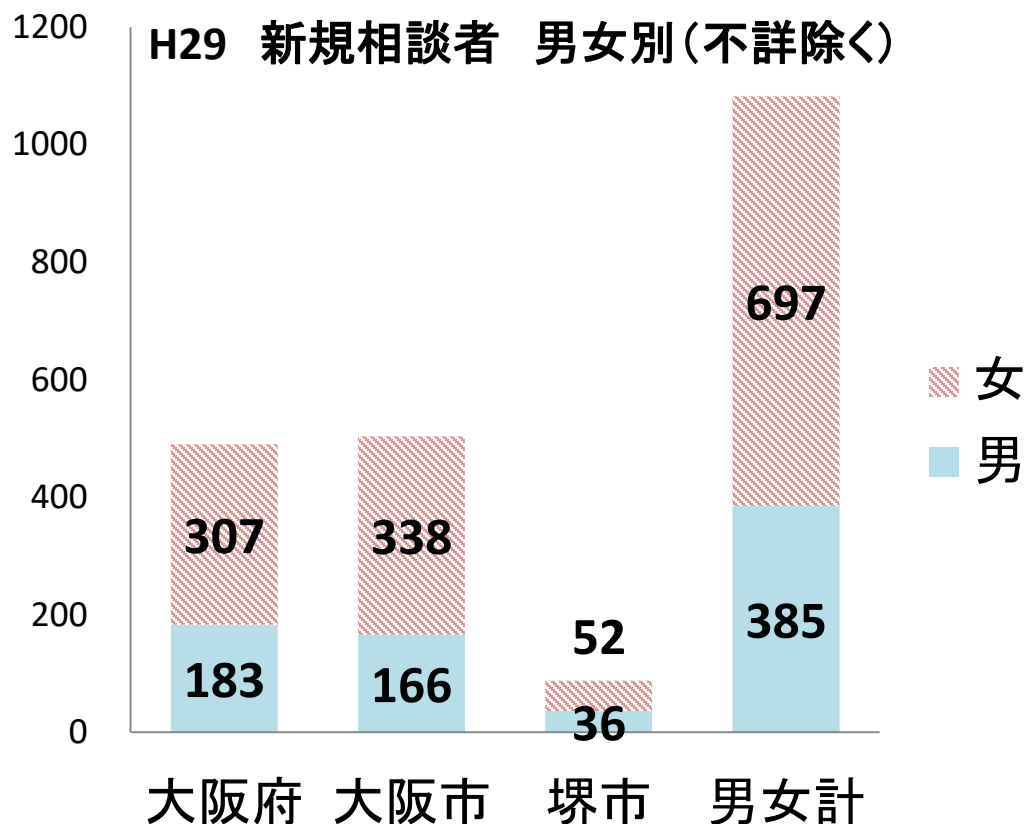
大阪府				158	452	440	370	361	490
大阪市	12	40	61	190	381	338	274	351	504
堺市	15	32	44	41	78	64	64	62	88
計	27	72	105	389	911	842	708	774	1082

## ②相談同意者内訳

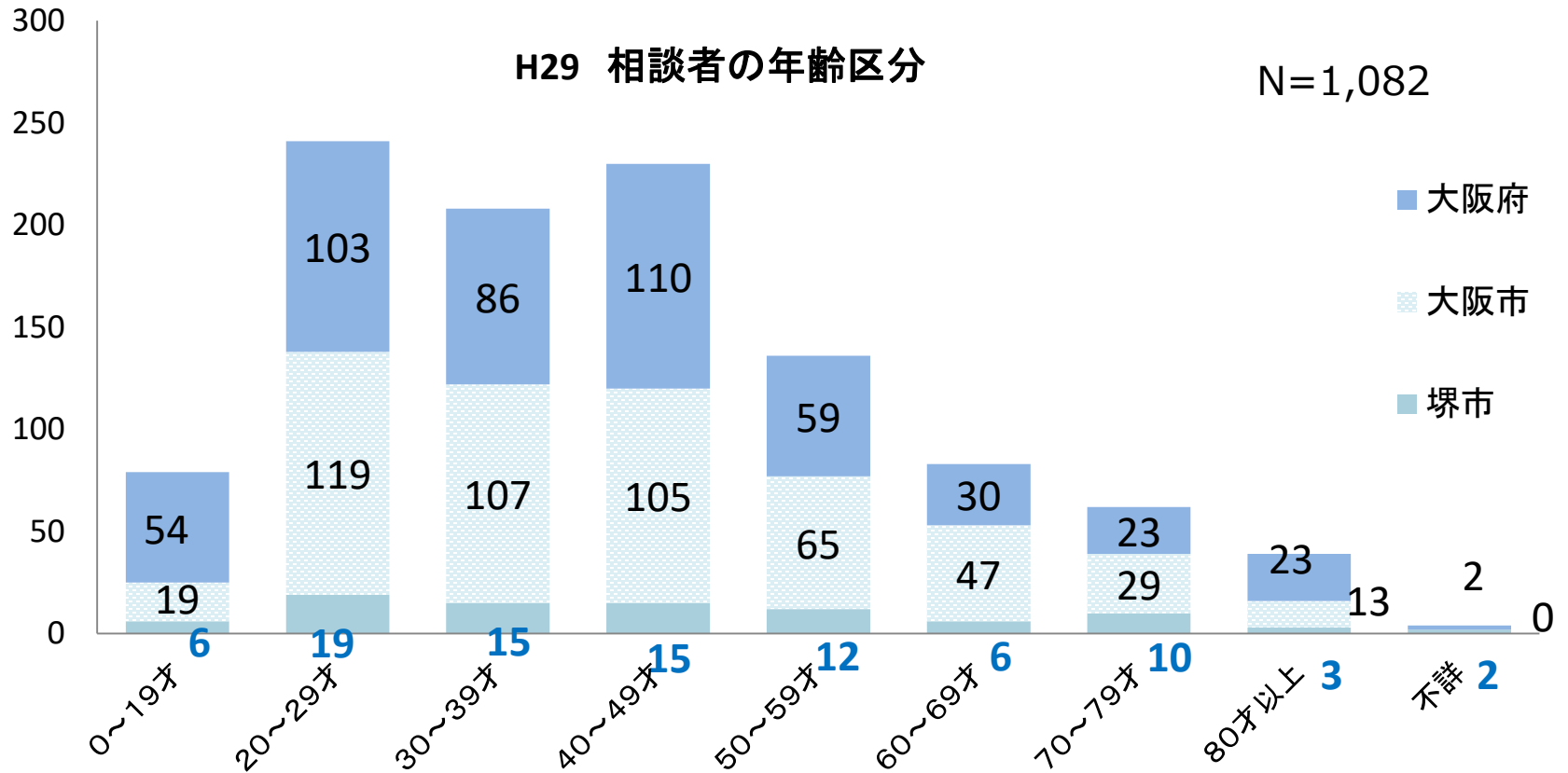


家族同意が約6割弱、本人同意が約4割で、同意は本人より家族から得ることが多い。

## ③対象者の概要(男女別)



## ④対象者の概要(年代別)



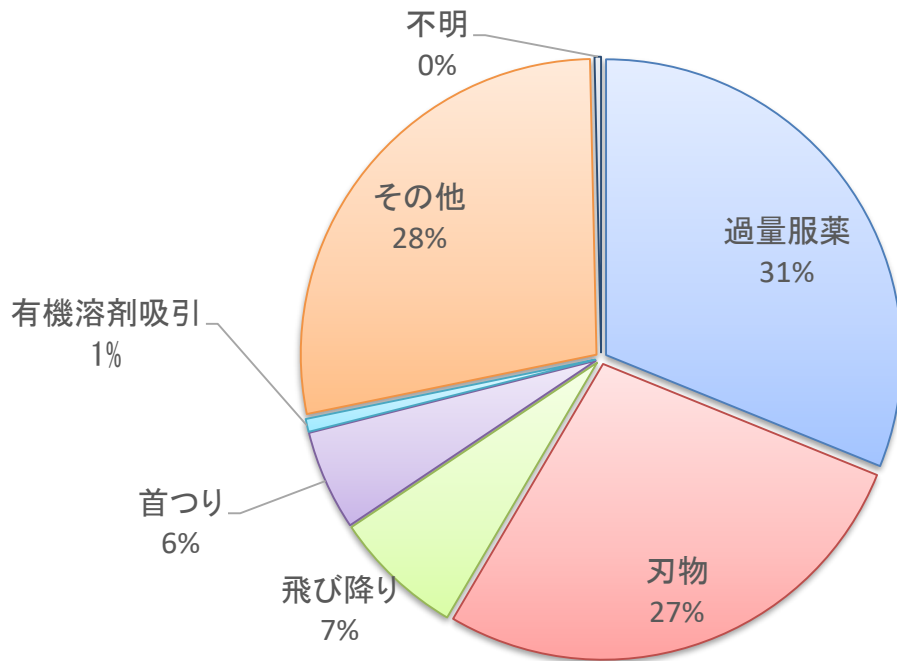
人	79	241	208	230	136	83	62	39	4
率	7.3%	22.3%	19.2%	21.3%	12.6%	7.7%	5.7%	3.6%	0.4%

自殺未遂者の年代区分では、20歳代（22.3%）、30歳代（19.2%）、40歳代（21.3%）が多い。

## ⑤ 自殺未遂の手段

H29 未遂の手段

N=1,134  
\* 複数選択



■ 過量服薬 ■ 刃物 ■ 飛び降り ■ 首つり ■ 有機溶剤吸引 ■ その他 ■ 不明

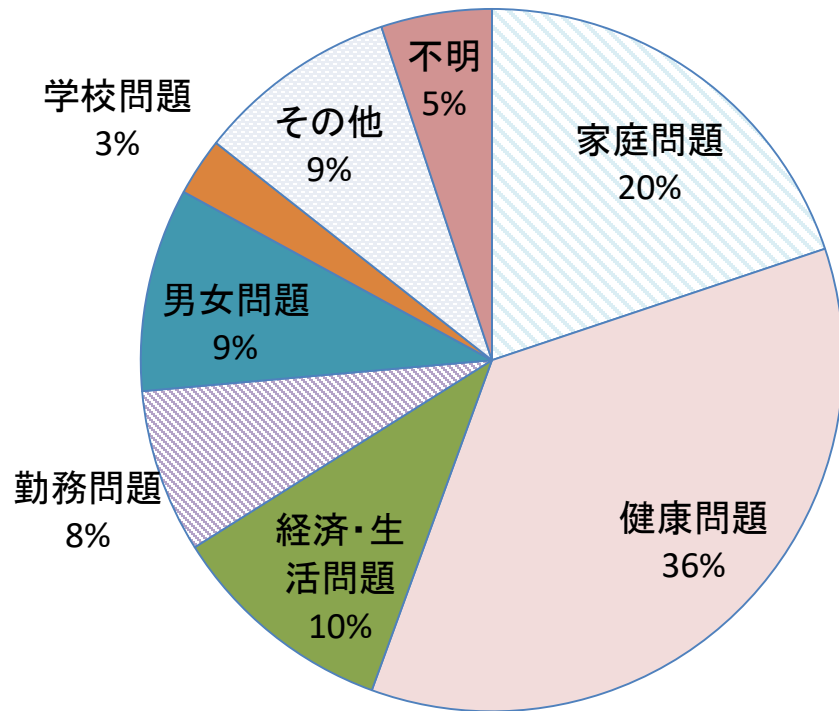
過量服薬	353	31.1%
刃物	310	27.3%
飛び降り	81	7.1%
首つり	62	5.5%
有機溶剤吸引	8	0.7%
その他	316	27.9%
不明	4	0.4%
計	1134	100%

自殺未遂の手段は、過量服薬（31.1%）が多く、次に刃物(27.3%)が多い。

## ⑥ 自殺未遂者の原因・動機

### H29 相談内容別

N=1,314  
\* 複数選択



家庭問題	261	19.9%
健康問題	469	35.7%
経済・生活問題	138	10.5%
勤務問題	99	7.5%
男女問題	123	9.4%
学校問題	35	2.7%
その他	122	9.3%
不明	67	5.1%
計	1,314	100%

自殺未遂の原因・動機は、健康問題が多く（35.7%）、次に家庭問題（19.9%）が多い。